

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大のリスクを考慮し10月25日に開催を予定しておりました「2020 DA MONDE TRAIL Challenge Autumn」は、これまで皆様に親しんでいただいたリレー形式による一斉スタート、一斉ゴールでの3時間耐久レースという従来の形式や規模での開催は時期尚早であるという結論に達しましたことをまずご報告させていただきます。しかし全てを中止しなければならない春先の緊急事態下から現在ではどのように新たな環境下で活力を取り戻すのかを模索する状況へと変化しつつあります。そんな中、新たな地域の活力となるべく活動をおこなうDA MONDE TRAILとしても「リスク排除=従来の方法での開催が不可能=全て中止」という結論を導くのではなく「いま私たちにできること」を模索し挑戦することを決めました。そしてもう一度規模や、様式の変化はあっても「あの場所に大切な人たちと緩やかに集うところから再開させたい」としてはそんな風に考えこのRun for Joyという企画を提案することにしました。

以前のように「集えること」は当たり前で、その先の結果や順位や、いかに壮大な挑戦であるかを追い求めることがスポーツの魅力であるということが、口にされることはなくとも、大勢の価値観を占めていたように感じられる、これまでのスポーツシーンから、本来スポーツはコミュニケーションツールであり、その人と人との繋がりにおいて熱を帯びながら価値観の共有を図り、互いの尊さを大切にするという、繋がる喜びや、互いの存在を確かめあうような、そんな手段でことに光を当て、そんな場所としてもう一度あの森に楽しい声が響くような鮮やかさを取り戻したいと願ってやまないからです。

例えばあるコースを10周走るのが楽しい人もいれば、1周だけでいいから楽しく走りたいというひともいます…どちらも「楽しい」「楽しみたい」ということにおいては等価であるように思います。またそれは誰かが初めて10kmのトレイルランニングに挑戦する時の緊張や高揚感や不安と、初めて100マイルに挑戦するひとのそれも、それぞれの立ち位置や経験値、または体力が違うだけで、その超えていく壁の大きさと伴う不安、乗り越えたいと思う意思に違いはないと思います。DA MONDE TRAILはもう一度そんな多様な価値観を大切に、人が集う場所がある喜びや、トレイルランニングの魅力を改めて提案したい…特にこんな変化を求められ、変化しなければならない価値観の中でそんなふうに感じています。

日頃より節制し鍛錬している方からすれば競技性の低い緩やかなファンイベント的な内容は共有しにくいかもしれません。トレイルランニングもトレーニングも最終的には孤高の行為であるのかもしれませんが、けれども、10月25日のその日は大切な友人や家族を誘って、芝生にレジャーシートでも広げて、少しのんびりしながら「まずは歩きながらでいいからゆっくり一周走ってみようか？」と、そんなふうに過ごせる一日を過ごしてみたいかがでしょうか。これまで経験したことのないこの未知の状況下にあって、それぞれが経験し大切だと改めて気づいたのはそんな何気ないことが楽しめることや、人と人が再び集える喜びではなかったでしょうか。あの場所にそんな風景が戻ってきてほしいと願います。そんな緩やかで穏やかな気持ちでトレイルランニングをレジャーとして楽しんでほしいと願うのがDA MONDE TRAILの出発の原点であるようにも思います。Run for Joyは緩やかに集い、競うことなく楽しむ「ただ走る」だけのイベントかもしれません。けれども大切な人たちと一緒に集えること、楽しめるという当たり前のことがいかに尊いものであるか…そんな少し特別な時間を参加する人、支える人で一緒に共有し育むところからDA MONDE TRAILの活動を再出発したいと思います。

こんな考えに皆様のご理解をいただけるなら、これまでの活動の成果としてこんなに嬉しいことはありません。